

協働事業提案制度平成 25 年度実施事業の中間評価（確認）

1 中間評価（確認）の方法

協働事業実施期間中に評価（確認）を実施する。

（1）協働事業の進捗状況等の確認（実施団体と事業関係課が話し合って評価）

上半期の事業の進捗状況と実施内容・結果を確認するとともに、下半期に向けて課題の改善を図るため、「協働事業中間評価（確認）シート」（別紙 1）を作成する。

なお、中間評価（確認）の結果を区民協働推進会議に報告するため、補足資料として、事業内容などが視覚的に確認できる資料も合わせて作成する。

（2）中間評価結果における助言等

区民協働推進会議は、実施団体と事業関係課の評価結果に対して、助言等を行うことができる。実施団体と事業関係課は、その助言等を踏まえ、下半期の事業に取り組む。

2 中間評価の対象事業

	事業名
	災害時にも平時にも使える「アイデア満載サバイバルレシピ集」の作成事業
	練馬区内での植樹運動
	働き盛りの方に対する健康づくり支援事業
	NPO・ボランティア・区民がゆるやかにつながる交流事業「カフェ型サロン」の開催
	SANGOさろん

協働事業中間評価（確認）シート

作成日 平成 25 年 10 月 1 日

事業名 災害時にも平時にも使える「アイデア満載サバイバルレシピ集」の作成事業

実施団体	区事業関係課
心のあかりを灯す会・NPO法人楽膳倶楽部	防災課・健康推進課
事業の目的	
災害時における健康にも配慮したレシピ集を作成・配布し、災害時も健康な区民生活の継続に寄与するとともに、区民の平時からの健康的な食生活の推進並びに災害に対する備えや意識の向上を図る。	

事業実施予定・内容		
1 災害時にも平時にも使える「アイデア満載サバイバルレシピ集」の作成・配布 2 作成したレシピ集を活用した講習会の開催		
	レシピ集の作成・配布	講習会の開催
4月	目次案の提案・仮設定	レシピ候補の検討
5月		
6月	レシピ候補の試作 試作後、再検討	日程の選定
7月		会場確保
8月		レシピ集のレイアウト検討
9月		
10月	レシピ集の編集	レシピ集イラストの作成
11月		
12月	レシピ集の校正・印刷	
1月		
2月	レシピ集の配布	講習会の周知
3月		講習会の開催

提案団体の役割	区事業関係課の役割
1 レシピ集の原稿作成・編集・校正	1 レシピ集の作成に関する災害対策と栄養面の視点からの助言
2 レシピ集の印刷	2 レシピ集の区民等への配布と活用
3 レシピ集を活用した講習会への協力(レシピ集作成者の立場からの講義など)	3 レシピ集に対するアンケートの作成・配布・回収・集計
4 レシピ集の区民等への配布と活用	4 レシピ集を活用した講習会の企画・運営
	5 その他事業の実施に関する必要な補助、助言および調整

実施内容・結果

- 1 災害時にも平時にも使える「アイデア満載サバイバルレシピ集」の作成
4月～9月に6回の編集会議を開催
レシピ集の概要 48P A5判 2色刷り 20,000部作成
コンセプト 防災に対する意識啓発。災害時に力が発揮できるよう、日常生活の中で健康づくりとともに実践できる知識の普及と行動（訓練）を促す。
目次（案） 防災に対する知識編（防災脳へのシフト）
 - ・被災すると何が起きるか
 - ・冷蔵庫、備蓄品をしてみる（食材のストックと保存法）
 - ・食品の取扱いについて考える
 - ・熱源を考える
 - ・調理道具を考える実践訓練編（レシピ集）の二部構成
 - ・何もなくてもお米はある
 - ・まぜるだけレシピ
 - ・冷蔵庫の中のもので温かいスープ
 - ・ホイルで包んで何でも蒸し焼き
 - ・ポリ袋レシピ
 - ・デザートでホットとする
 - ・小麦粉レシピ
 - ・偉大なる備蓄品
 - ・電気が復旧、電子レンジで簡単レシピ
- 2 作成したレシピ集を活用した講習会の開催
 - ・平成26年2月と3月に各1回開催する予定。
 - ・会場は、光が丘地区と石神井地区とする。

当初の想定より、良く（上手く）できたこと

2つの団体が協力して取り組むことで、優れた技術を持つ人材が豊富になり、レシピ集作成に向けた大きな力となっている。（調理、イラスト作成、写真撮影、編集などの分野で優れた技術を持った人材がいた。プロのボランティア活動を含む。）
レシピ候補の試作について、NPO法人楽膳倶楽部の厨房を利用できたため、円滑に進めることができた。

当初の想定どおりできなかったこと、それに対して対応したこと

2つの団体と2つの区の担当課が係わる事業であるため、関係者全員が集まって議論する機会を持つことが困難であった。そのため、全員でメールを通じて「目次案の提案」や「レシピ候補の検討」を進めた。（その中で月1回程度全員が集まり、検討状況のまとめ等を行った）

今後重点的に取り組むこと

多くの方に手に取って読んでもらえるよう、表紙、内容に工夫をしていく。
作成したレシピ集を使った講習会においても、お互いが力を合わせ、レシピ集のコンセプトを伝え、講習会の参加者の方に日常生活で実践していただけるよう努める。また、参加者に協力を呼びかけ、周りの人たちに伝えてもらえるよう仕掛けをしていく。

協働事業中間評価（確認）シート

作成日 平成 25 年 10 月 1 日

事業名 練馬区内での植樹運動

実施団体	区事業関係課
練馬植樹推進会	みどり推進課
事業の目的	
練馬区内において身近なみどりを広げるとともに、植樹や講演会を通じて区民のみどりに対する意識の高揚を図る。	

事業実施予定・内容		
1 石神井・関町地域を中心とした民家の庭への植樹活動		
2 みどりの普及啓発に関する講演会の開催		
	植樹活動	講演会
4月	募集	
5月	植樹	
6月	募集 植樹	講師、パネリストの選定
7月		
8月	募集	
9月	植樹	会場確保
10月	植樹した苗木のメンテナンス	担当割り当て
11月		チラシ、ポスターの作成
12月	募集	講演会の周知、参加者募集
1月	植樹	アンケート作成、講演会の開催（26日）
2月		アンケート集計

提案団体の役割	区事業関係課の役割
1 植樹活動 (1) チラシの原稿作成 (2) 植樹活動の周知 (3) 植樹希望者の募集・受付 (4) 植樹希望者との連絡・調整 (5) 植樹作業 (6) 苗木の調達・管理・運搬 2 講演会の開催 (1) 講演会の企画・運営 (2) チラシの原稿作成 (3) 講師、パネリストの手配 (4) 講演会の周知（DMなど） (5) 参加者申込受付 3 その他 (1) 活動保険への加入	1 植樹活動 (1) 募集チラシの印刷（軽易印刷） (2) 緑化協力員との連携の調整 2 講演会の開催 (1) 会場の確保 (2) 募集チラシの印刷（軽易印刷） (3) 緑化協力員への協力の呼びかけ (4) 講師、パネリストの選定補助 (5) 講演会の周知（区報など） (6) 会場の設営補助 3 その他 (1) 事業実施に係る必要な調整

実施内容・結果

1 植樹活動

植樹 は協働事業提案制度事業「第一弾！」と銘打って、南田中4・5丁目で実施。町内会役員の協力や地元緑化協力員有志の応援もあって、当初計画（30本）以上の47本の植樹を達成することが出来た。

植樹 環境教育支援プロジェクト、武蔵大学主催の「若者と市民の環境会議」会場内において、練馬植樹推進会と本事業の植樹活動の写真パネルを展示し、植樹用苗木をデモ展示した。

植樹 石神井小関町会で募集。応募が少なかったため、隣の関町北4・5丁目町会にも広げて募集中。植樹実施は10月予定。

総体的に植樹事業は、目下のところ順調に推移している。

2 講演会

5月～8月 講師、パネリストの選考、フォーラム内容の検討

講師 樹木生態研究会代表理事

パネリスト JA東京あおば常務

練馬みどりの機構代表理事

練馬区みどり推進課長

練馬植樹推進会会長

コーディネーター 練馬植樹推進会相談役

9月 会場確保（練馬区立勤労福祉会館 平成26年1月26日午後）

フォーラム内容（案）別紙のとおり

当初の想定より、良く（上手く）できたこと

第一弾 南田中地区での植樹は、町会役員の協力があって予定以上の植樹応募数があり、植樹作業では、地元緑化協力員有志の応援もあって、計画以上の成果があげられた。これにより、練馬植樹推進会のボランティア活動の輪が広がった。

事業者（小売店）から苗木を購入するにあたり、苗木の運搬（現場近くまで搬送）、価格設定（年間を通じて同一価格で対応）、苗木サイズ（希望のサイズ）等についての要望に対し、事業者の理解と協力が得られ、苗木調達は順調に推移している。

フォーラムの準備は計画通り順調に進んでいる。（会場確保済み。基調講演講師、フォーラムパネリスト、コーディネーターはいずれも確定済み。フォーラム企画概要、タイムスケジュールも確定済み）

当初の想定どおりできなかったこと、それに対して対応したこと

植樹 として、武蔵大学主催の「若者と市民の環境会議」において植樹募集チラシを配布しようと考えていたが、区外からの来場者が多いことが分かったため、チラシ配布を中止し、同会場において練馬植樹推進会の活動状況の写真パネルを展示、植樹用苗木もデモ展示を行い、植樹活動のPRに努めた。

今後重点的に取り組むこと

植樹本数の目標達成

フォーラムの準備を計画通り推進し、成功させる。

苗木育成場用地を探し、自前の苗木による植樹活動を目指す。

練馬のみどりを考えるフォーラム【概要】(案)

- 1 企画名 練馬のみどりを考えるフォーラム
- 2 日時 平成26年1月26日(日)午後2時から4時50分(予定)
- 3 会場 練馬区立勤労福祉会館 集会室
(住所)練馬区東大泉5-40-36(電話)03-3923-5511
- 4 協力 練馬区緑化協力員 他
- 5 目的 豊富だと言われてきた練馬のみどりは、現在減少しつつあり、失われたみどりの回復対策が叫ばれている。このような問題を中心に、区民とのコミュニケーションを図りつつ、みどり豊かな練馬をめざして語り合う。
- 6 集客目標 135～150名
- 7 広報
 - (1) 植樹した方への案内
 - (2) 関係ボランティア団体への案内
 - (3) 区報への掲載
 - (4) 町内会掲示板への掲示
- 8 内容
 - (1) テーマ、形式
テーマ 「練馬のみどりを考える」
フォーラムディスカッションの形式とする。
 - (2) 基調講演(40分程度)
樹木生態研究会 代表理事 堀 大才
 - (3) フォーラムディスカッション(1時間程度)
【パネリスト】
 - ・練馬区みどり推進課 課長 毛塚 久
 - ・JA東京あおば 常務理事 渡邊 和嘉
 - ・練馬みどりの機構 代表理事 園部 俊介
 - ・練馬植樹推進会 会長 伊藤 金弥【コーディネーター】
 - ・練馬植樹推進会 相談役 佐藤 勝彦
 - (4) 質疑応答(15分程度)
 - (5) アンケート
来場者にアンケートを実施、回収する。

協働事業中間評価（確認）シート

作成日 平成 25 年 10 月 1 日

事業名 働き盛りの方に対する健康づくり支援事業

実施団体	区事業関係課
NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井	スポーツ振興課
事業の目的	
主に 30 代～50 代の働き盛りの方を対象に、一人一人が主体的に健康づくりに取り組む機会を提供し、生活習慣病の予防と継続的な運動を通じた健康づくりを推進する。	

事業実施予定・内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1 運動と食事・ウォーキング&初心者ジョギング教室の開催 2 海辺をはだして歩こう！健康づくりウォークの開催 3 日本ウォーキング協会主催「スリーデーマーチ」への参加 <p style="margin-left: 20px;">1・2については、子どもと一緒にの参加もできるものとする</p>			
	運動と食事・ウォーキング &初心者ジョギング教室	海辺をはだして歩こう！ 健康づくりウォーキング	スリーデーマーチ
4月	講師の手配、会場確保 ちらし作成		
5月	区報掲載、事業周知 参加者の募集開始、 アンケートの作成		
6月	事業の実施	参加者の募集開始	
7月	アンケートの集計		
8月		区報掲載、事業周知 実地踏査	
9月		事業の実施	参加者の募集開始
10月		アンケートの集計	区報掲載、事業周知 実地踏査
11月			事業の実施
12月			アンケートの集計

提案団体の役割	区事業関係課の役割
<ol style="list-style-type: none"> 1 事業の企画・運営（区の役割を除く） 2 チラシの原稿作成 3 事業の周知（DMなど） 4 参加者の受付 5 参加者へのアンケートの実施・集計 6 活動保険への加入 	<ol style="list-style-type: none"> 1 募集チラシの印刷（印刷機による一色印刷） 2 事業の周知（区報・区立小学校など） 3 運動と食事・ウォーキング&初心者ジョギング教室の開催場所の確保 4 事業実施に係る必要な助言・調整

実施内容・結果

1 運動と食事・ウォーキング&初心者ジョギング教室

- (1) 実施日時
平成25年6月16日 9時30分～12時00分
- (2) 場所
男女共同参画センター
- (3) 周知方法
ねりま区報、小学校を通じてのPTAへの配付、ダイレクトメール、体育館等区立施設でのチラシの配布
- (4) 参加人数
申込者数24名(目標60名)
当日参加者数23名+スタッフ5名 30代~50代 7名
- (5) 内容
ア 講義 「働き盛りの方の運動と食事」 管理栄養士 石垣幸子
イ 実技 「ウォーキング教室」 元オリンピック選手 宇佐美彰朗
石神井公園内をウォーキング 雨により室内でウォーキングを実施
ウ 今後の事業の案内および例月のウォーキング事業の案内
- (6) アンケート結果
アンケート用意したが、時間がなく集計できず。

2 海辺をはだして歩こう! 「健康づくりウォーキング」

- (1) 実施日時
平成25年9月22日(日) 6時45分～18時30分
- (2) 場所
九十九里浜
- (3) 周知方法
ねりま区報、ダイレクトメール、体育館等区立施設でのチラシの配布
- (3) 参加人数
申込者数31名(大人23名、小人8名)(目標40名) 30代~50代 9名
23名(大人18名、小人5名)(内5名が1回目からの継続参加)+スタッフ5名
30代~50代 7名(内2名が1回目から継続参加)
- (4) 内容
ア 九十九里浜の海岸をはだしてウォーキング 5km
イ スリーデーマーチおよび例月のウォーキング事業の案内
- (5) アンケート結果
別紙のとおり

当初の想定より、良く(上手く)できたこと

屋外事業のため、天候が心配であった。「運動と食事・ウォーキング&初心者ジョギング教室」では、あいにくの雨の中、室内でウォーキング教室を開催。講師の指導が良く、狭い室内の中でもポイントを押さえた充実した事業になった。

この事業開催後、30代~50代の方で4名がSSC上石神井の月例ウォーキングなどの事業に参加していただけるようになった。

「海辺をはだして歩こう!」では天候に恵まれた。4歳~72歳まで幅広い参加者があり、ペースの違い、途中のリタイアなどの不安があったが、それぞれのペースで5kmを全員が完歩できた。

当初の想定どおりできなかったこと、それに対して対応したこと

「運動と食事・ウォーキング&初心者ジョギング教室」では、30代から50代の方に参加いただくため、小学校を通じてPTAへ事業の案内を行ったり、以前、団体の事業に参加があった当世代の方にダイレクトメールを送ったりしたが、ターゲットとした参加者があまり集まらなかった。

「海辺をはだして歩こう」では、親子での参加を呼びかけ、働き盛りの保護者(30~50歳代)の参加を目論んだ。第1回目と比較して30代~50代の方の申し込み多くあり、親子参加の有効性が確認できた(結果的には、直前のキャンセルなどもあり、第1回目と同じ参加者数になった)。

今後重点的に取り組むこと

最後の事業に向け、参加者を増やすよう取り組む。

今回の企画終了後にも、例月のウォーキング事業など継続的に参加できる(スポーツ)プログラムを提供していく。

働き盛りの方たちのより多くの参加を見込むには、親子参加(親も子どもも楽しめる)のプログラムが効果的であることがわかってきた。こうしたことを踏まえ、30代~50代の運動不足解消に向けたプログラムを考えていく。

海辺をはだして歩こう！「健康づくりウォーキング」アンケート集計

開設日：平成25年9月22日（日）

参加者：23名（17名回収）

Q1 事業をどこで知ったか。

ちらし	3人
ねりま区報	9人
口コミ	3人
その他	2人

Q2 参加した感想

良かった	16人
まあまあ良かった	1人
あまり良くなかった	
悪かった	

Q3 海辺を5キロ歩いた感想（複数回答可）

長い	
適当である	11人
短い	2人
楽しかった	13人
退屈だった	
疲れた	

Q4 今回、良かった点、楽しかったこと（複数回答可）

海辺・自然	13人
天気	13人
海辺をはだして歩いた	16人
バス旅行	6人
スタッフ対応	11人
昼食	11人
ゲーム	10人
その他	

Q 5 今回気になった点（複数回答可）

海辺・自然	1人
天気	2人
砂浜	2人
バス旅行（時間が長い）	1人
スタッフ対応	
昼食	2人
ゲーム	1人
その他	3人

Q 6 参加費

高い	1人
適当	4人
安い	12人

Q 7 事業の開催時期

9月が良い	16人
他の月が良い	
未回答	1人

Q 8 昼食付について

昼食付で良かった	16人
昼食持参でも良かった	1人
どちらでも良かった	

Q 9 この事業を来年も開催したほうがよいと思うか。

開催したほうが良い（参加したい）	17人
開催しないで良い	
どちらでも良い	

Q10 感想（自由意見）

- ・4歳の子供でも楽しかったので、ぜひまた参加させてください。もうすこし時間的に余裕があったらいいなあと感じました。
- ・持ち物のなかにビーチサンダル等記入してはどうですか？
- ・天気が良くてラッキーでした。昼食天つゆなしの天ぷらでちょっと残念だった。海辺をはだして歩いたのは本当に楽しかったです。いろいろありがとうございました。
- ・スタッフの皆様ご苦労様でした。
- ・楽しい時間をありがとうございました。
- ・九十九里をはだしてあるけたのでとてもよかったです。次回は海水パンツを持参します。とてもたのしかったです。ありがとうございました。
- ・主催者の説明が欲しかった。区からの助成金の有無も説明あって良い。どうもありがとうございました。
- ・天気も良く大変よかったです。次の時もぜひ参加したいと思います。
- ・(ゲームの)景品が全員に行渡りスタッフの気づかひの深さを感じました。この程度の気温なら弁当持参でよい。参加者が十分でなく残念でしたが、内容はすごく良い企画でした。海を見ることが久しぶり、はだして歩くのも久しぶり。スタッフの皆様お疲れ様でした。11月も頑張りましょう。
- ・数十年振りに千葉の海を見られ砂浜をはだして歩きながら、きれいな貝を見付けたり、波の音に包まれてとても思いで深い一日にさせて頂きました。有難うございます。お昼ごはんはまあまあかな。
- ・(昼ごはん)少なかった。うみがきもちよかった。
- ・すべて良かった。
- ・自然にふれて何年ぶりに海岸歩いた。海釣りに行った以外はなかった。

協働事業中間評価（確認）シート

作成日 平成 25 年 10 月 1 日

事業名 NPO・ボランティア・区民がゆるやかにつながる交流事業「カフェ型サロン」の開催

実施団体	区事業関係課
NPO法人練馬明るい社会づくりの会	地域振興課
事業の目的	
多様な活動主体同士の相互理解を推進し、活動主体同士の連携や地域活動を支える土壌の醸成を図る。	

事業実施予定・内容	
NPO団体やボランティア・区民等を対象とした交流会「カフェ型サロン」の開催 大泉地域、練馬地域で各3回開催	
4月	事業関係部署等の情報交換会
5月	講師の選定
6月	
7月	事業関係部署等の情報交換会
8月	会場の確保
9月	ちらしの作成、事業の周知
10月	
11月	大泉地域 第1回交流会
12月	練馬地域 第1回交流会
1月	大泉地域 第2回交流会
2月	練馬地区 第2回交流会
3月	大泉地区 第3回交流会、練馬地区 第3回交流会

提案団体の役割	区事業関係課の役割
1 「カフェ型サロン」の企画・運営	1 会場の確保
2 講師の手配・打ち合わせ	2 広報(区ホームページやNPOニュースなど)
3 チラシ、ポスターの作成	3 区職員への周知
4 広報	4 関係団体や区の関係部署との調整
5 メーリングリストの作成に向けた仕組みづくり	
6 継続して開催するための仕組みづくり	

実施内容・結果

1 事業関係部署等の情報交換会

交流会の開催に当たり、練馬まちづくりセンター、NPO活動支援センター、福祉部経営課からのアドバイスや協力を得ながら進めるため、情報交換会を開催した。

第1回 事業概要の説明、事業に対するアドバイス依頼、講師等の紹介依頼、協力依頼

第2回 講師(案)の報告、開催日程の調整(他のイベント等と重複予防)

2 交流会の企画

ファシリテーター：山ノ内凜太郎 氏 (一般社団法人ISP)

交流会タイトル : もし、練馬区の100人と“ともだち”だったら何ができるだろう!

第1回テーマ : まちづくりのここが好き!

第2回テーマ : 違いを活かし合うまちづくり!

第3回テーマ : 未定(1回目、2回目の状況により決定)

3 開催日時・場所

	大泉地域 勤労福祉会館集会室	練馬地域 区役所地下多目的室
第1回	11月16日(土)14時~	12月7日(土)14時~
第2回	1月19日(日)14時~	2月9日(日)14時~
第3回	3月(未定)	3月15日(土)14時~

4 募集人数・参加費

各会場各回40人、1回につき500円(コーヒー、お菓子付)

当初の想定より、良く(上手く)できたこと

事業関係部署等との情報共有を図りながら、協力体制を組んで、進めることができています。

当初の想定どおりできなかったこと、それに対して対応したこと

講師(ファシリテーター)の選定、日程調整に時間を要してしまい、11月からの開催になった。

実際に講師がファシリテーターをしている会場に足を運ぶなどで、人選を進めてきた。

今後重点的に取り組むこと

事業関係部署の協力をいただきながら、交流会の周知の徹底を図っていく。

交流会を単年度で終わらせず、来年度開館する区民協働交流センターを利用した交流会につなげていけるよう、NPO活動支援センターとも連携を図りながら、参加者の交流に対する意欲の高揚に努める。

協働事業中間評価（確認）シート

作成日 平成 25 年 10 月 1 日

事業名 SANGOさろん

実施団体	区事業関係課
東京都助産師会練馬地区分会	光が丘保健相談所

事業の目的

妊娠中の方や乳児を抱える保護者の母乳育児に対する不安を軽減するとともに、必要に応じて早期に保健相談所や医療機関などにつなげることに努め、安心して子育てができる環境の向上を図る。

事業実施予定・内容

1 SANGOさろん

- (1) 実施場所 練馬区南田中 3 - 8 - 2 8 スカイブルーマンション B 1
NPO 法人東京コミュニティミッドワイフ活動推進協議会
助産所ねりじょはうす Luna
- (2) 実施日 毎火曜日 13 時～16 時、毎金曜日 9 時～12 時
- (3) 事業内容
 - ア 乳房マッサージケア、母乳相談・助言・指導
 - イ 医学的知識に基づいた個別の相談・助言・指導
 - ウ 保健所・医療機関への連絡調整
 - エ その他、産後の回復状況に応じた母親や家族へ支援
- (4) 実施体制 助産師 3 名（責任者 1 名、スタッフ 2 名）
- (5) 利用料 簡単な乳房ケア、母乳・育児相談 1,000 円
断乳・トラブル時のケア 3,000 円

2 出張型 SANGOさろん

- (1) 実施場所 保健相談所 6 か所（豊玉、北、光が丘、石神井、大泉、関）
- (2) 実施内容 各保健相談所にて「母乳育児講座」、「卒乳講座」を各 1 回開催
各講座終了後、個別相談に応じる
所要時間 3 時間程度
- (3) 実施回数 年 1 2 回
- (4) 募集人数 原則 1 回 20 人程度（各会場の都合により決定する）
- (5) 実施体制 助産師 3 名（責任者兼講師 1 名、スタッフ 2 名）
- (6) 参加費 無料

提案団体の役割	区事業関係課の役割
1 SANGOさろん、出張型SANGOさろんの事業の運営 2 SANGOさろんの実施場所の確保 3 事業の周知用チラシ等の作成 4 事業の周知 団体のホームページへの掲載 関係団体のホームページへの掲載 区内医療機関やSANGOさろんへポスターを掲示（別紙参照） パネルにて出張SANGOさろんを紹介（別紙参照） 5 利用者アンケートの実施・集計 6 その他、事業の実施に係る事項	1 事業の周知 保健相談所の健診および相談事業での周知 こんにちは赤ちゃん事業での周知 子育てのひろばなど公共施設での周知 出張型SANGOさろんの区報等での周知 2 場所の確保、事業運営の調整等 出張型SANGOさろん・実施場所確保 出張型SANGOさろんの事業実施に必要な調整および運営の補助 3 事業の連携、情報提供 必要に応じた保健師等との連携 子育て支援情報の提供

実施内容・結果	
1 SANGOさろん	
(1) 実施日数	52回
(2) 利用者数	計243人（初めて利用142人）
（内訳）	
簡単な乳房ケア、母乳・育児相談	210人
断乳・トラブル時のケア	33人
2 出張型SANGOさろん	
(1) 「母乳育児講座」の開催	
5月31日 14時～16時	石神井保健相談所（募集人数30名） 申込者数30名 参加者22名（妊婦12名）
6月17日 14時～16時	光が丘保健相談所（募集人数30名） 申込者数23名 参加者20名（内妊婦9名）
8月5日 14時～16時	豊玉保健相談所（募集人数30名） 申込者数31名 参加者22名（内妊婦16名）
(2) 「卒乳講座」の開催	
5月8日 14時～16時	北保健相談所（募集人数25名） 申込者数28名 参加者26名
7月8日 10時～12時	大泉保健相談所（募集人数25名） 申込者数22名 参加者20名
9月25日 14時～16時	光が丘保健相談所（募集人数25名） 申込者数25名 参加者18名
3 アンケート結果	
別紙参照	

当初の想定より、良く（上手く）できたこと

<SANGO さろん>

昨年度より参加者がわずかに減少したが、利用者アンケートにおいて99%の方から「不安が解消できた」「ほぼ不安が解消できた」との回答をいただくことができた。

<出張 SANGO さろん>

母乳育児講座の参加者を妊娠中の方を対象に加えたことで、母親学級では伝えきれない母乳育児について学んで頂くことができた。また、実際に赤ちゃんと接する機会にもなり、これから母親となる方の自覚を高める効果もあった。

区報掲載を早めた（講座6週間前）ことで、保健相談所の事業を通じて、参加を呼び掛ける機会が増えた。また、別の事業で来所した方に直接声をかけ、その場で受付をすることで、ほとんどの講座で定員を満たす申し込みがあった。

昨年行った講座の様子を掲載したパネルやポスターを作成し、周知の際に使用した。講座に対するイメージが持ちやすくなり、申し込みにつながった。

赤ちゃん人形を使っの授乳体験を行うことで、実際の母乳育児へのイメージにつなげることができた。

グループ分けを、住所、経産婦/初産婦、月齢、予定日、妊娠中の方/産後ママなどを考慮して行った。妊婦は妊婦同士や低月齢の児を持つ母親と接することで、産後の自分をイメージできる機会や、子育てスタートに対する心構えのようなものを学ぶ機会となった。また、近い月齢のママ同士が興味や関心事の情報を交換したり、育児の悩みを共有したりして、自分だけでないといった安心感を得る機会にもなった。昨年同様グループ交流会で不安が和らぎ、個別相談につながるケースがなかった。

昨年同様保健相談所側との事前打ち合わせにより当日の講座運営は滞ることなくスムーズに行うことができた。

当初の想定どおりできなかったこと、それに対して対応したこと

周知用のポスターを近隣自治体のお産を取り扱う医療機関や赤ちゃん用品店などに掲示し、参加者を募りたかったが、赤ちゃん用品店などは本店の許可が必要であり、簡単に許可が降りず掲載することができなかった。いくつかのお産を取り扱う医療機関のみの掲示となった。

出張SANGOさろんでは、予想以上の当日のキャンセルが出た場合もあった。

今後重点的に取り組むこと

必要な方に情報が伝わるよう、引き続き周知に努める。

引き続き双方が密に連携を図り、講座の参加者に満足してもらえるよう改善できる点などは、その都度検討し柔軟に対応していく。また心地よい母乳育児が続けられるよう、不安なく卒乳が迎えられるよう、妊婦は母乳育児をスムーズにスタートできるよう継続して応援していく。

次年度の事業展開について、双方で検討する。

練馬助産師会では、これからも勉強会や症例検討会を継続して行い会員の意識・ケアの統一および向上につなげていく。

SANGOさろん・出張SANGOさろん 利用者アンケート(4月～9月)

1 SANGOさろん

開設日数：52日

利用者数：243名(初めての利用者142名)

アンケート対象：初めての利用者142名(113名回答)

Q1 SANGOさろんをどこで知ったか。

	人数		
保健相談所	34人	Luna	4人
赤ちゃん訪問	31人	病院	5人
知人紹介	9人	友人知人	3人
助産師会HP	17人	通りすがり	3人
その他	20人	上の児で利用	1人
出張SANGOさろん	2人	ネット	1人
		母学	1人
		練馬の冊子	1人
		助産師	1人

Q2 児の月齢

利用月例	3か月以下	6か月以下	9か月以下	12か月以下	1歳1か月以上	未回答
人数	52人	19人	13人	8人	19人	2人
割合	46.0%	16.8%	11.5%	7.1%	16.8%	1.8%

Q3 SANGOさろんを利用して、不安は解消されたか。

	解消された	ほぼ解消された	どちらとも言えない	解消されなかった
人数	88人	24人	1人	0人
割合	77.9%	21.2%	0.9%	

Q 4 感想（自由意見）

- ・ミルクから母乳へと割合をかえて不安だったのですが、このままでと言われて安心しました（3か月）
- ・とても明るい空気を作ってくださって相談しやすかったです。心配だったことを話せてスッキリしました。ありがとうございました（2か月）
- ・おっぱいが出ていて自信になりました。本当に不安だったので嬉しいです。また遊び方などで心配があったら来たいと思います。（2か月）
- ・おっぱいの出方が悪いと思っていましたが、けっこう出ているようなので安心しました。助産師さんのお話も聞けるので良かったです。優しくていねいにさせていただいて安心しました（4か月）
- ・民間の助産院より手軽に来れそうです。また悩んだときは来たいと思います（2か月）
- ・不安に思っていたことを相談できたり母乳の出を見てもらったり、ていねいにケアして頂き、たいへんありがたかったです。もっと早く来たかったです。アットホームですごくよかったです（3か月）

2 出張SANGOさろん

	開催回数	参加者数	アンケート回収人数
母乳育児講座	3回	64名	64名
卒乳講座	3回	64名	63名

Q1 出張SANGOさろんをどこで知ったか。

	母乳育児講座	卒乳講座
ねりま区報	12人	48人
保健相談所	36人	4人
助産師会HP	3人	1人
赤ちゃん訪問	9人	3人
その他	4人	6人

Q2 講座全体について

母乳育児講座

	よい	だいたいよい	やや悪い	悪い
場所	45人	17人	2人	0人
時間	45人	17人	2人	0人
資料	31人	27人	6人	0人
話し方	51人	12人	1人	0人
対応	48人	16人	0人	0人
満足度	43人	21人	0人	0人

卒乳講座

	よい	だいたいよい	やや悪い	悪い
場所	36人	16人	10人	1人
時間	43人	19人	1人	0人
資料	32人	27人	4人	0人
話し方	50人	13人	0人	0人
対応	51人	12人	0人	0人
満足度	40人	23人	0人	0人

Q3 感想（自由意見）

母乳育児講座

- ・母乳相談で伺った。混合ですができるだけ母乳を多く飲ませたいので色々お話を聞いてアドバイスを頂いたので満足できる講座でした。
- ・今の時代インターネットで調べてしまうのですが、やはり助産師さん、ママさんたちの生の声での体験談が聞いたのは大きな収穫でした。漠然とした不安がなくなりました。知識も得て気持ちがよくなり、参加して本当によかったです。
- ・おっぱいの飲ませ方に色々な抱き方があることを初めて知った。実際お人形で体験してみると手首に力が入ってしまったりして上手な授乳の仕方を教えて頂いて良かったです。（妊婦）
- ・グループワークで先輩方のお話が参考になりました。授乳方法も個別に教えていただけました。
- ・先輩ママさんから、本物の赤ちゃんを抱かせていただき、なんだか感動しました。母乳がトラブル少なく出てくれるといいとおもいます。

卒乳講座

- ・卒乳後のケアのお話が聞いて安心できた。
- ・子どもが無理なく出来るようにして行って良い事がわかり、仕事をしているがゆっくりと行っていこうと思う。
- ・卒乳の時期を決めたら、今日の講座のように本当にスムーズにやめられるのか、うまくいか少し不安ですがとても勉強になりました。
- ・グループでの話し合いがとても参考になりました。同じような悩みがあるので、聞いていて勉強になりました。
- ・詳しく丁寧に教えて頂きとても参考になりました。ありがとうございました。